

横田基地にも
来ていた

C-17 米空軍大型輸送機が アラスカで 墜落



8月17日に横田基地にいたC-17(AK 00174)、事故機と1番違いです。

7月28日、アラスカ最大の都市アンカレッジの北方にあるエルメンドルフ空軍基地でC-17輸送機が離陸直後に墜落、乗員4人とも死亡という事故が発生、アメリカでは大ニュースとなっています。7月31日、8月1日に同基地で行われるエア・ショウに向け、デモ飛行の訓練中でした。

同機(AK 00173)は半年ほど前の1月18日に横田基地に飛来、翌19日に飛び立っています。C-17は横田基地に飛来する輸送機としては最も多く、毎週数機が横田に来ています。

墜落現場は滑走路から3kmほど北東で、基地内の林の中(wooded area・・・原文)で、樹木がなぎたおされ、事故機は原形をとどめないほど大破し、基地内を走るアラスカ鉄道のレールも壊したようです。

同様の事故が横田基地で起きたら、住宅密集地に墜落し、多くの住民の犠牲者を出す大惨事になること必至です。

羽村市を含む住宅地
上空では毎日のように
横田基地所属のC-130輸
送機が飛行訓練を行い、
連日の猛暑日、熱帯夜の
なかで住民のストレス
はたまる一方です。

羽村民報

2010年8月22日 987
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市議団のホームページ
<http://www.jcphamura.org>
事務所 電話 579-2132 FAX579-2106



エルメンドルフ空軍基地のホームページより 機体がこなごなに



同左 垂直尾翼だけがなんとか形をとどめ、機体番号がわかります。